

第4章 ライン・データの作成 - Google Earth - ArcMAP

(1) 目標

- ① Google Earth によるライン・データの作成方法を知る。
- ② KML を知る。
- ③ ライン・データの KML 保存方法を知る。
- ④ ArcMAP による KML データの導入方法を知る。

(2) 準備

① シェープファイルの準備

千葉県シェープファイル¥ChibaTUIS.zip を、D:¥Temp フォルダへコピーし、解凍する。

- ② 前回作成したプロジェクトファイルを確認する。Z ドライブの空間情報論のフォルダに ChibaPoint.mxd があることを確認する。

ない場合は、空間情報論のフォルダを Z ドライブへコピーする。

ChibaPoint.mxd の機能する条件

Z : ¥空間情報論に ChibaPoint.mxd が存在すること。

D : ¥TEMP に ChibaTUIS のフォルダと構成するファイルが存在すること。

(3) 作業その 1 (Google Earth による作業)

① Google Earth Pro の立ち上げ

リモートセンシングフォルダの Google Earth Pro をダブルクリックし、立ち上げる。

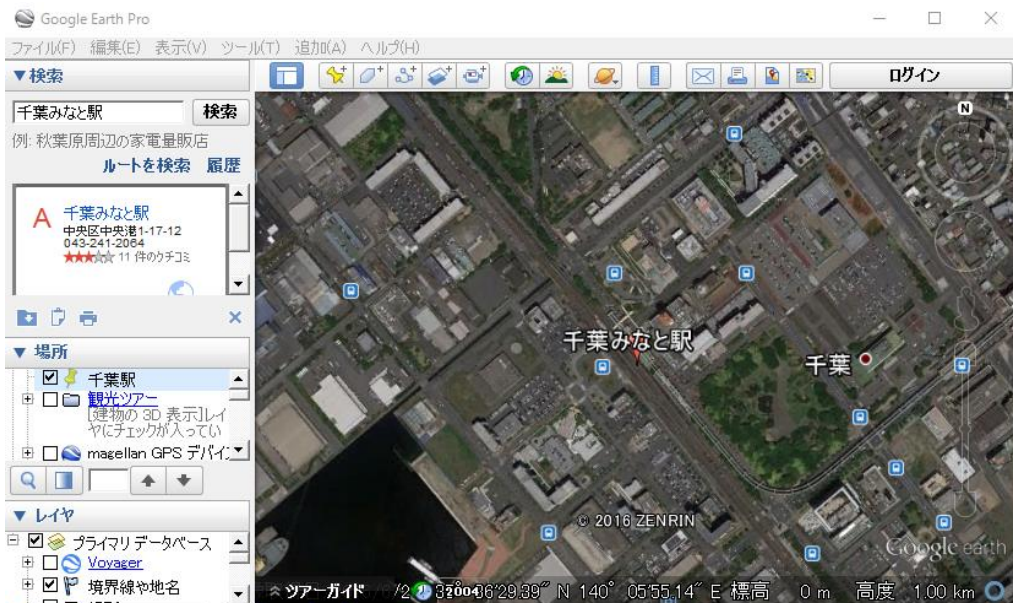
「Google Earth を探索する」は、「閉じる」をクリックする。



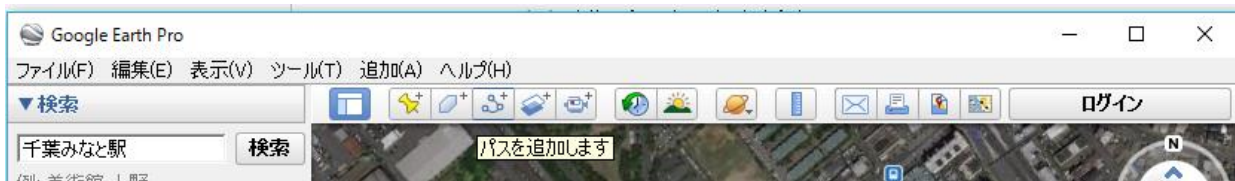
② ラインの登録

(ア) 千葉みなと駅から千城台駅

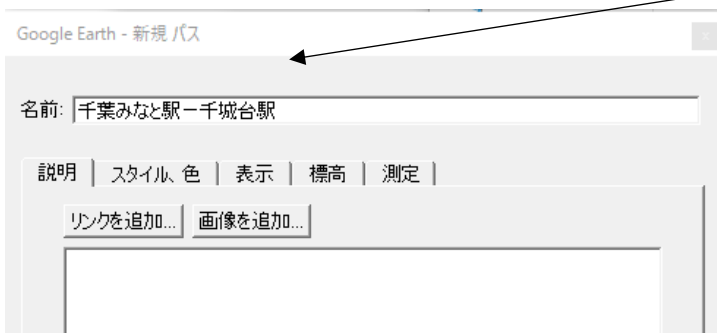
A) Google Earth の検索機能により、千葉みなと駅を見つける。



B) パスアイコンの「パスを追加します」をクリックし、パスをたどる。



C) パスの名前を「千葉みなと駅-千城台駅」とする。

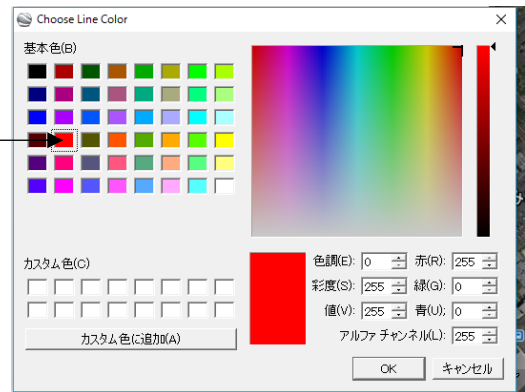
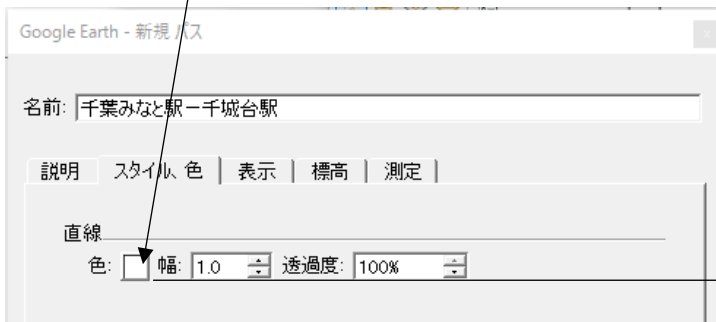


D) パスの配色変更

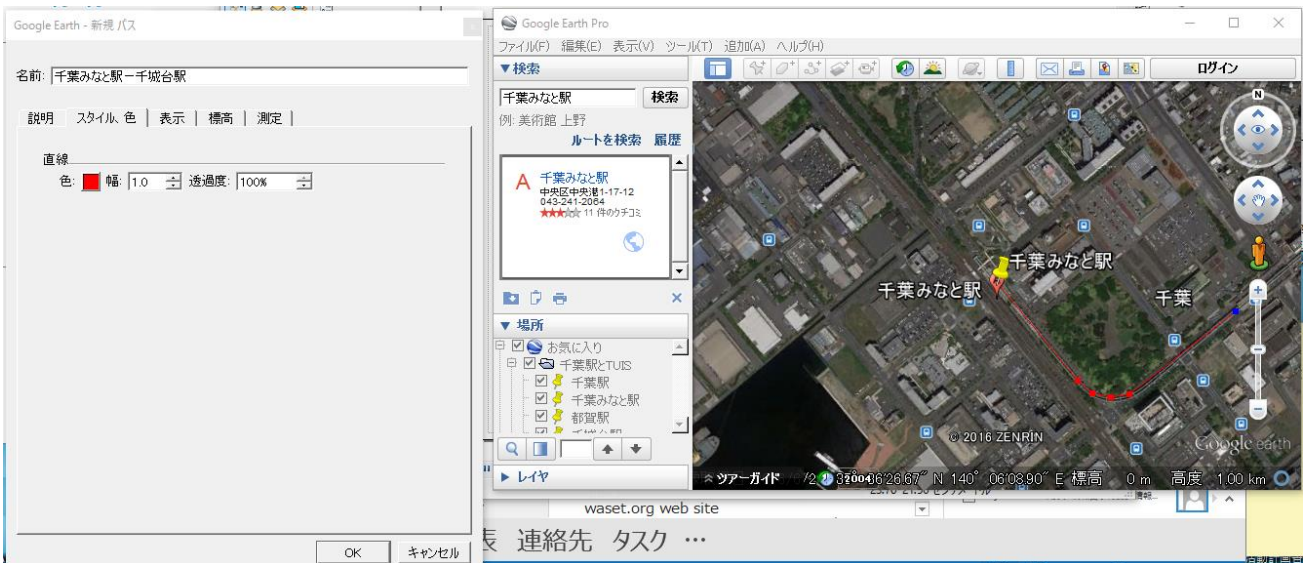
「スタイル、色」のタブをクリックし、直線の色を「白」から「赤」へ変更する。

カラーパレットの「OK」をクリックする。

新規パスは「OK」としない。



E) モノレールの経路をたどる。

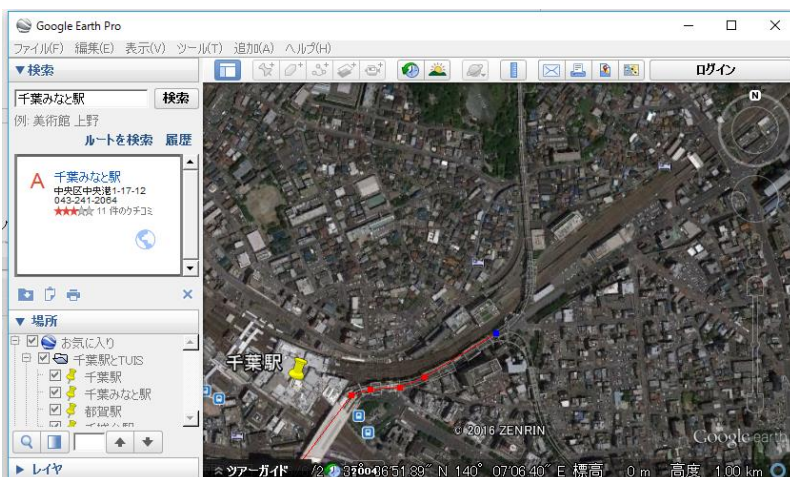


F) パスの追加作業

右手でマウスを操作し、ポイントを追加する。左手でキーボードの矢印を操作し、表示領域を移動する。

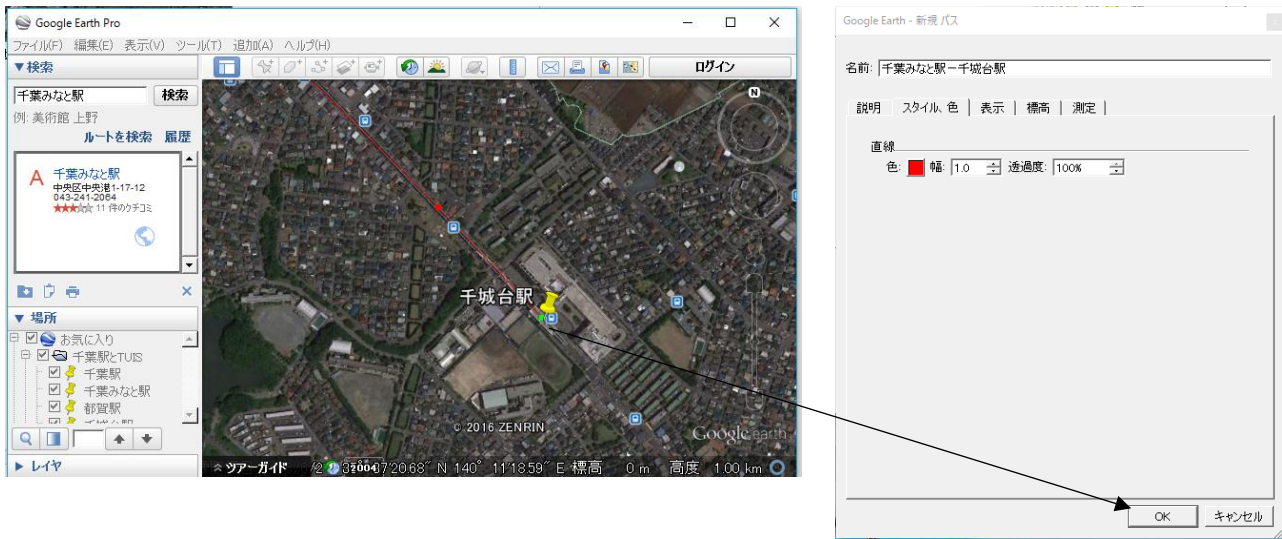
○ラインの追加を間違ったときは、バックスペースで消去する。

○新規パス「OK」をクリックしても、再度修正が可能である。



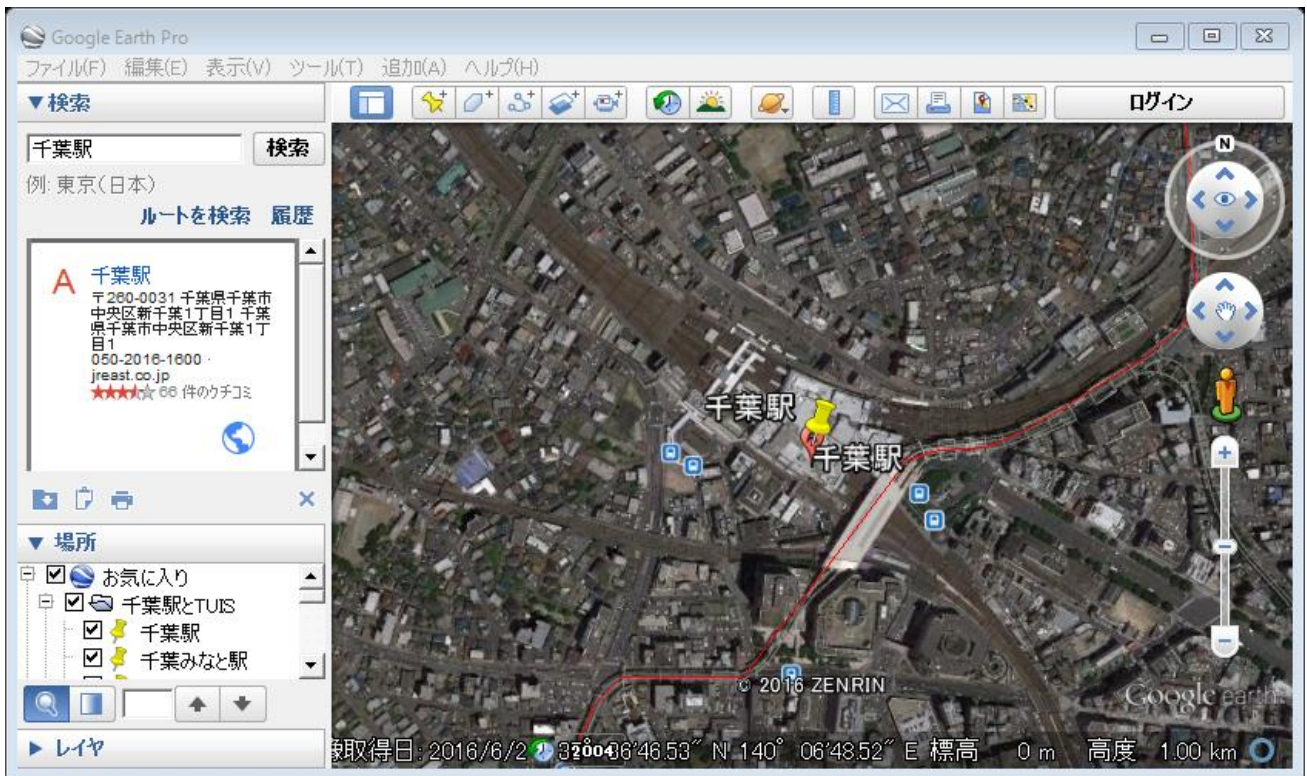
G) パスの終了方法

千城台駅で新規パスの「OK」をクリックし、パス（ライン）作成を終了する。

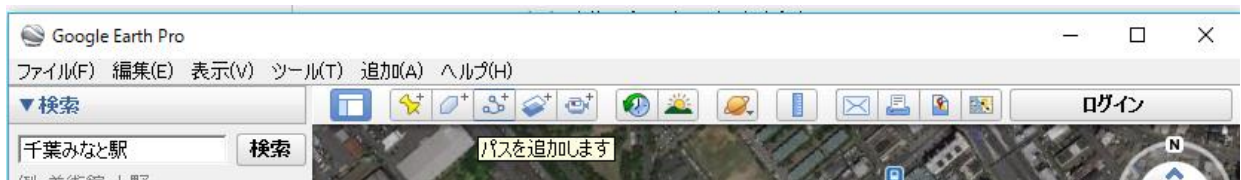


(イ) 千葉駅から県庁前駅まで

A) Google Earth の検索機能により、千葉駅を見つける。



B) パスアイコンの「パスを追加します」をクリックし、パスをたどる。

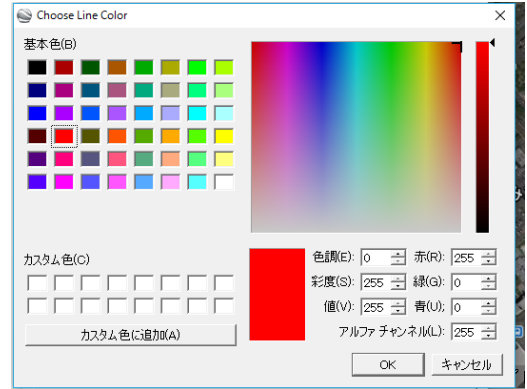


C) パスの名前を「千葉駅ー県庁前駅」とする。



D) パスの配色変更

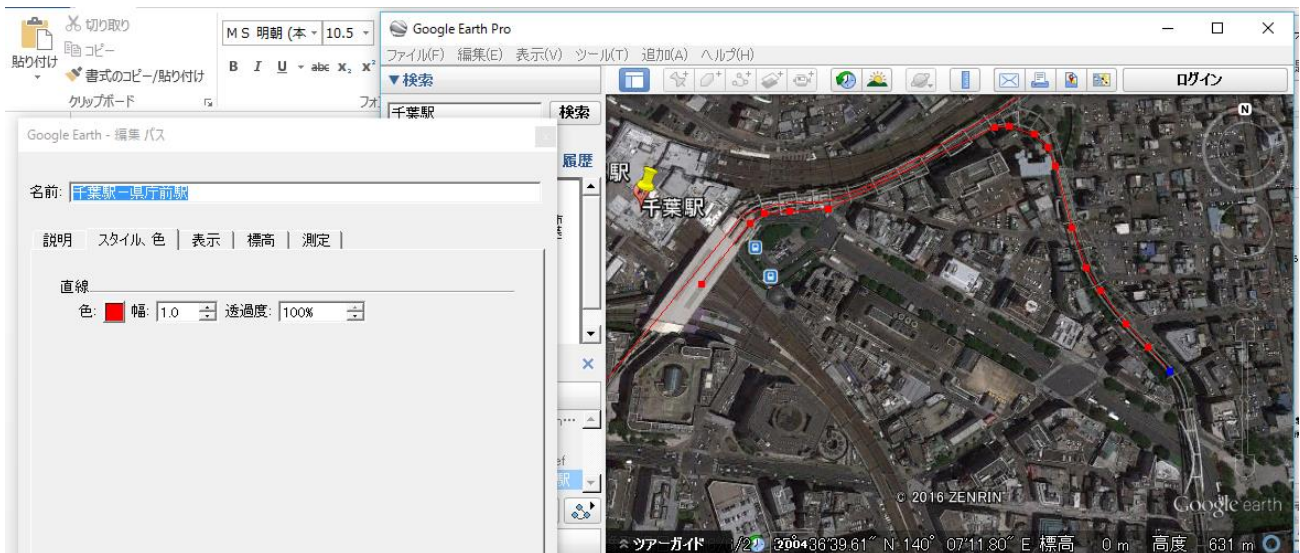
「スタイル、色」のタブをクリックし、直線の色を「白」から「赤」へ変更する。カラーパレットの「OK」をクリックする。



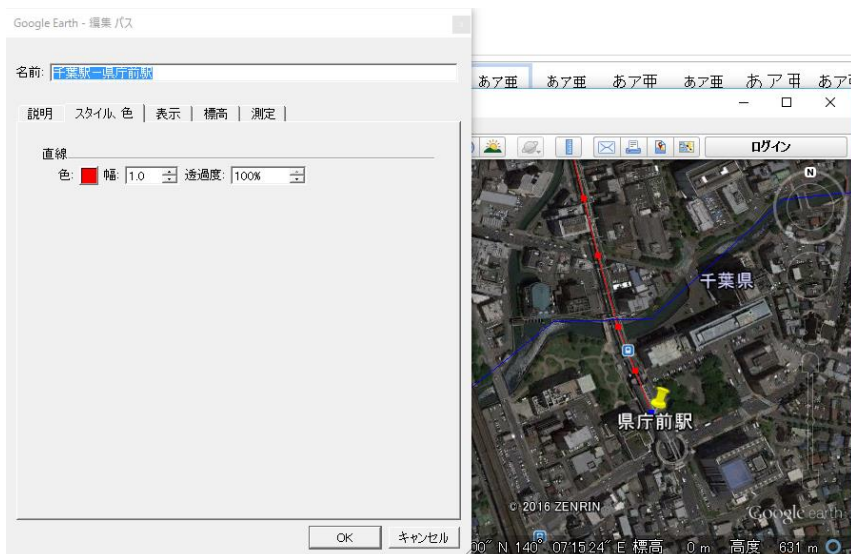
E) モノレールの経路をたどる。

F) パスの追加作業

右手でマウスを操作し、ポイントを追加する。左手でキーボードの矢印を操作し、表示領域を移動する。



G) パスの終了方法



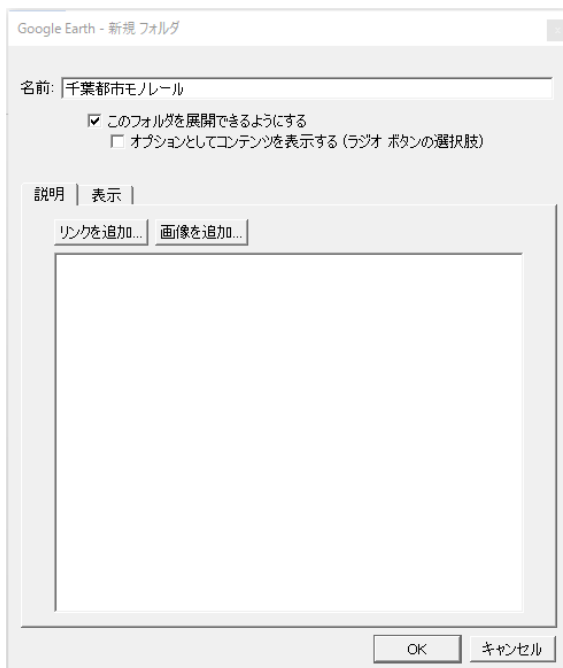
県庁前駅で新規パスの「OK」をクリックし、ポリゴン作成を終了する。

③ ライン収納フォルダの作成

お気に入りの場所を右クリックし、「追加」から「フォルダ」を選択する。ここに登録したラインを追加する。



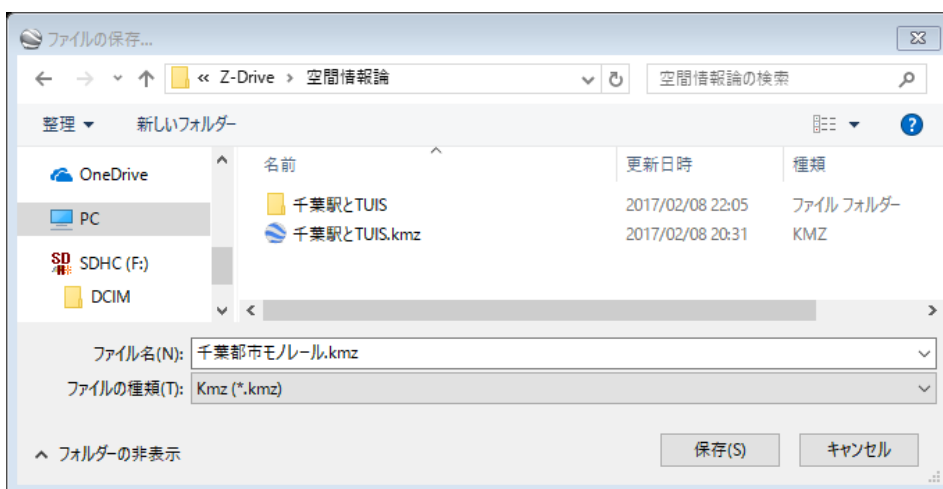
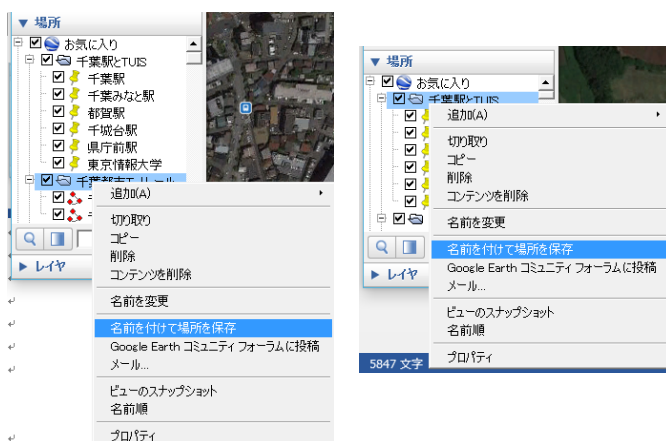
名前を千葉都市モノレールとしてフォルダを作成する。



④ ライン収納フォルダへの移動



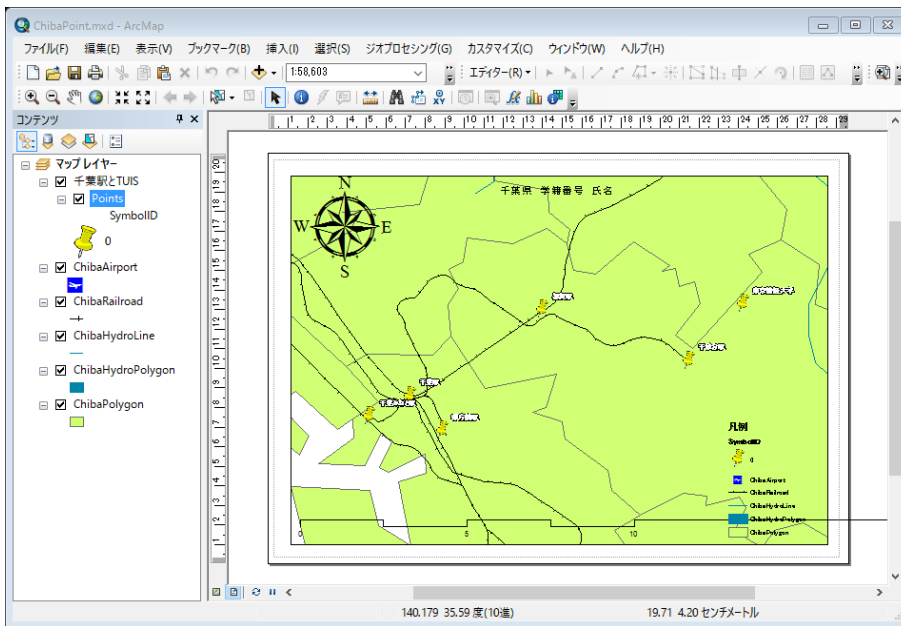
⑤ ライン収納フォルダの KML 保存



Z:ドライブの空間情報情報論のフォルダに「千葉都市モノレール.kmz」として保存する。kml は通常のテキストファイルであり、kmz は kml の圧縮形である。

(4) 作業その2 (ArcMAPによる作業)

① 既存プロジェクトファイルを開く



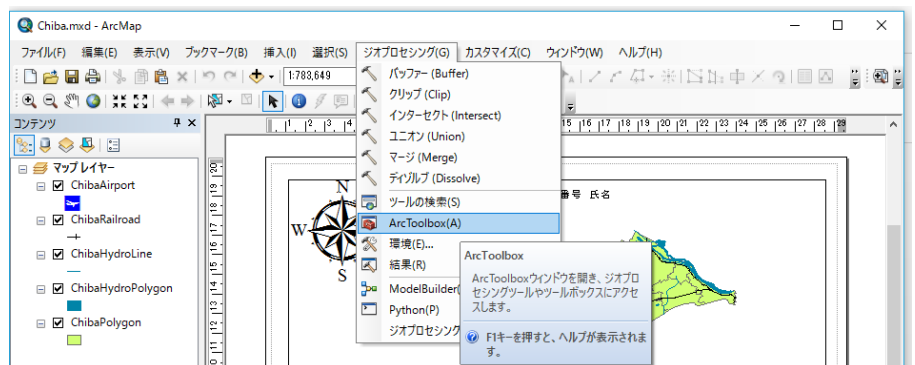
Z : ドライブの¥空間情報論に格納されている ChibaPoint.mxd をダブルクリックする。

・画像の表示されない原因:
D:¥TEMP¥ChibaTUIS
が存在しない。

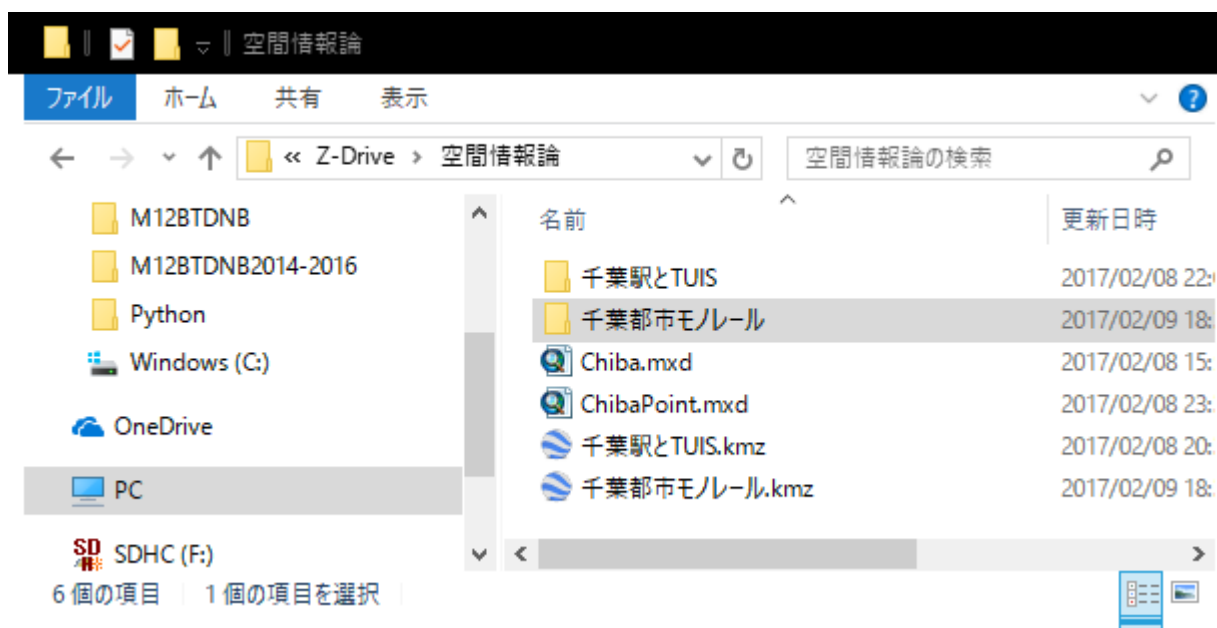
② ArcToolbox (工具箱) の確認



ArcTool ボックスが見えていないときは、ジオプロセッシングから ArcToolbox を開く。

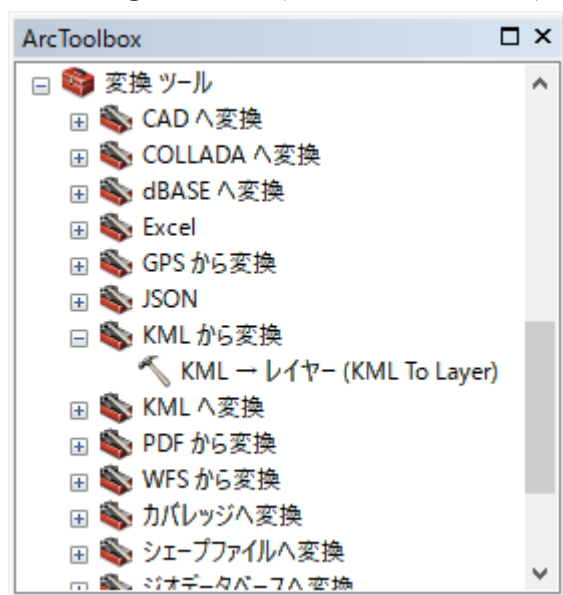


③ KML 変換の準備作業



Z:ドライブ(各自の作業領域)の空間情報論フォルダに、右クリックから「新規作成」から「フォルダ」を選択し、「千葉都市モノレール」を作成する。ここにラインのシェープファイルが作られる。

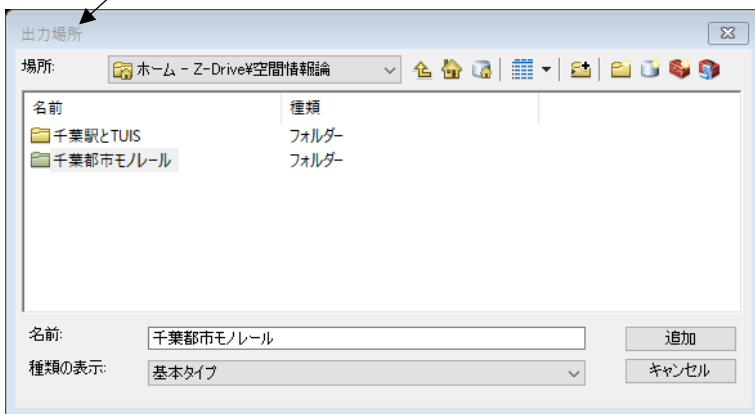
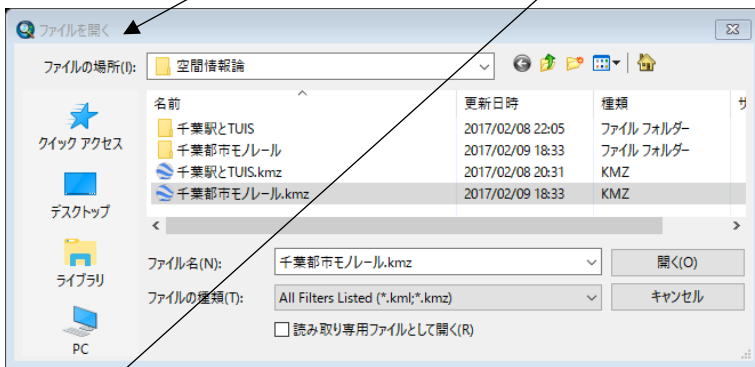
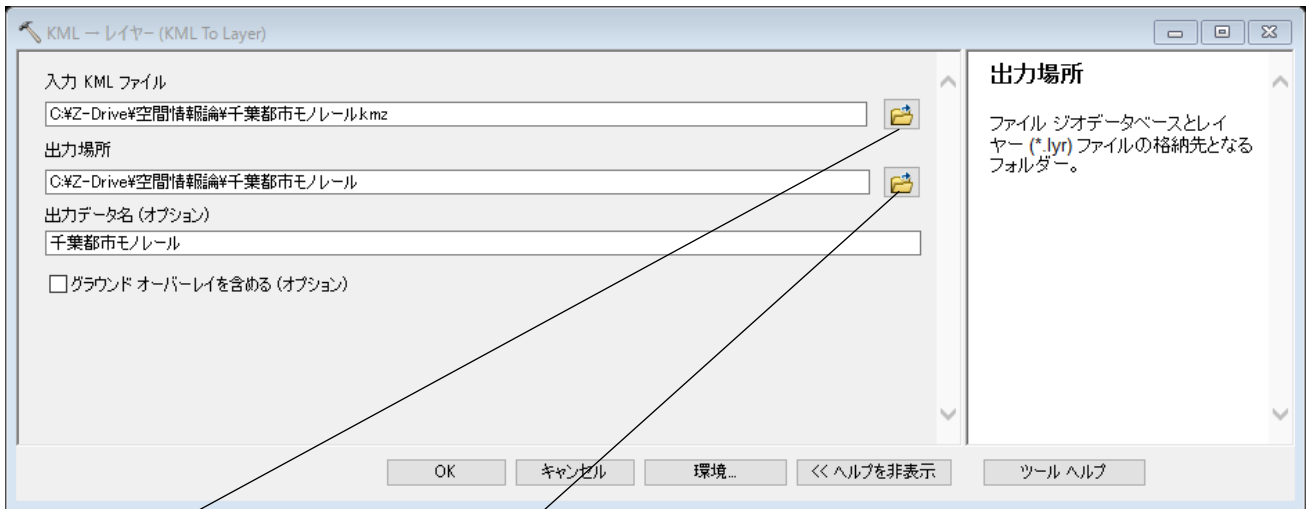
④ KML ファイルのシェープファイルへの変換



ArcToolbox の「変換ツール」の「KML から変換」の「KML→レイヤー(KML To Layer)」を起動する。

⑤ KML からレイヤーの作成

KML から変換をダブルクリックすると、次のウィンドウが開く。



変換の対象となる KML もしくは KMZ ファイルを指定する。

Z:ドライブ\空間情報論フォルダの「千葉都市モノレール.kmz」を指定する。

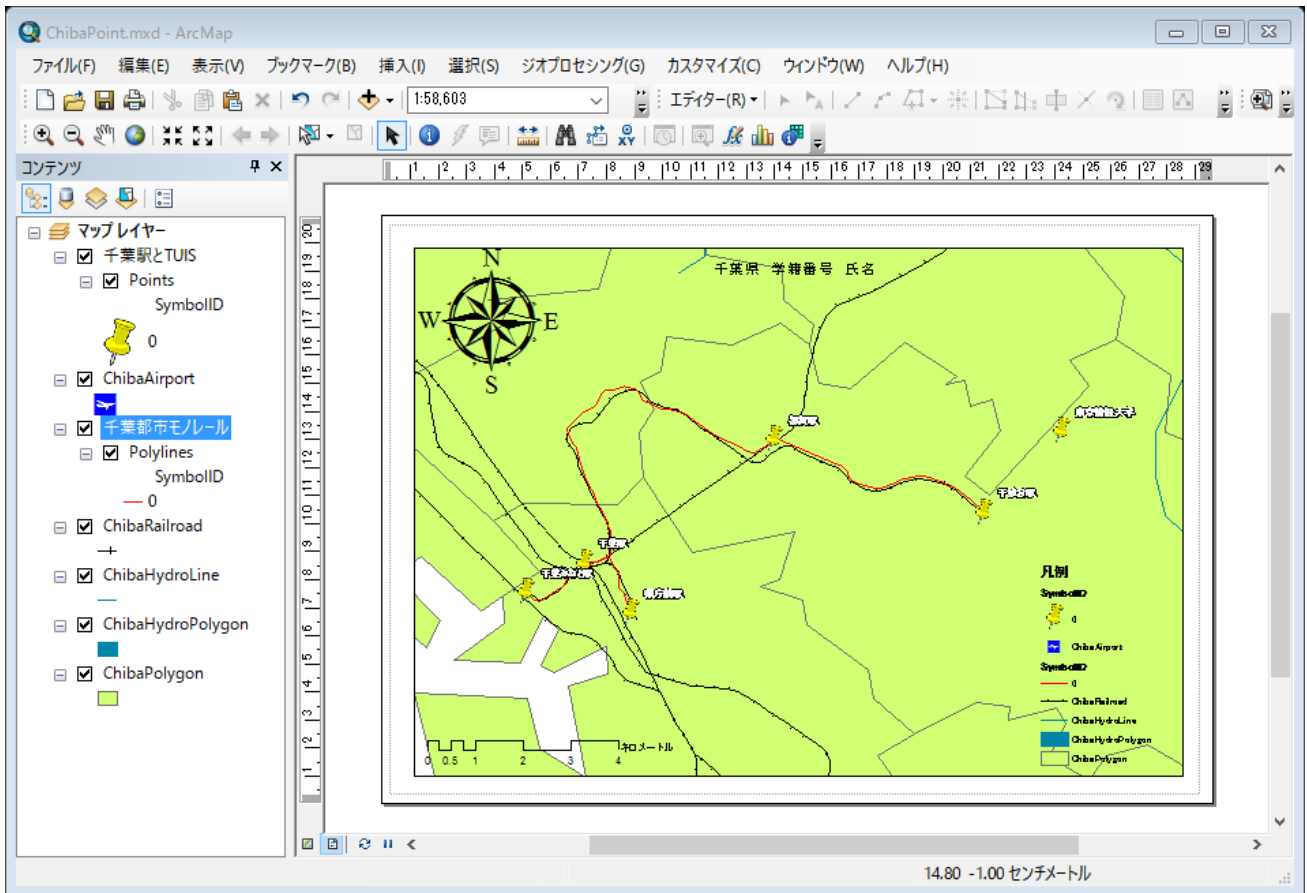
新しく作られるシェープファイルを保存する場所を指定する。③において作成したフォルダである。Z:ドライブ\空間情報論フォルダの「千葉都市モノレール」フォルダを選択し、「追加」をクリックする。

KML からシェープファイルの変換が成功すると、画面の右下に「✓ KML-レイヤー」が表示される。



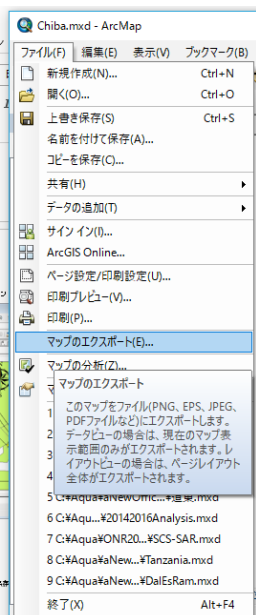
⑥ ラインデータの表示

KML から作成されたラインのシェープファイルが表示される。



縮尺記号が大きすぎるときは、縮尺記号をダブルクリックし、目盛幅を 1km とする。

⑦ マップのエクスポート



D : ドライブの
¥TEMP フォルダへ
「ChibaLine.tif」とし
て保存する。

